

チャイルドライン支援センターニュース vol.49

発行日：2006.7.18 発行：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

〒106-0032 東京都港区六本木4-7-14 みなとNPOハウス TEL03-5770-7507 FAX03-5770-1577

URL <http://www.childline.or.jp/> E-mail info@childline.or.jp illustrated by 清川あけみ

7月、梅雨明けももう間もなく、いよいよ夏本番ですね！

◆2006 チャイルドライン支援センター総会が開催されました◆

◆日 程 6月25日(日) 10:30~16:00

◆会 場 日本アムウェイ本社3階 会議室D

◆内 容

1. 開会挨拶

2. 議長選出

(1) 定足数の報告

(2) 議事録署名人の選出

(3) 議案審議

2005年度の事業報告

第1号議案 事業に関する事項〔事業報告書〕

第2号議案 収支に関する事項〔収支計算書〕並びに監査報告

第3号議案 組織・運営に関する事項

2006年度の計画

第4号議案 事業に関する事項〔事業計画書(案)〕

第5号議案 商標登録に関する事項〔商標使用同意基準(案)〕

第6号議案 収支に関する事項〔収支予算書(案)〕

第7号議案 定款変更に関する事項〔定款変更(案)〕

第8号議案 組織・運営に関する事項〔次期役員候補(案)〕

(4) その他

3. 議長解任

4. 閉会挨拶

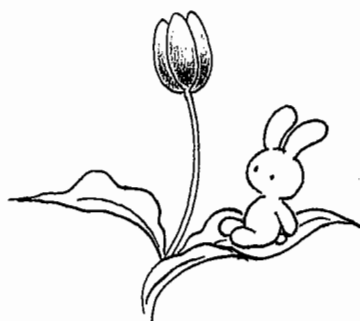
2006年度総会が終了しました。出席表決権を持つ74名の会員と、1団体でたくさんの方でいらして下さり、参加総数108名に及びました。今回の総会では、3月に特許庁から認証を受けた商標の件が目玉となり、会員のみなさまにも関心の深い内容となりました。

支援センターの総会としては初めて午前から午後にかけて長時間の開催となりました。中心となったのは第5号議案で3時間近い時間を費やし多岐にわたる議論を展開しました。結果、本議案については部分採決となり、修正提案をあらためて書面表決にて問うこととなりました。

総会後には、組織のあり方、総会のあり方等、これまで無かった観点での感想が聞かれ、自らの団体を振り返る機会になった、チャイルドラインを何のためにどこを目指してやっているのか考える機会になった、率直に意見し合える形式的では無い総会でよかった、途中退席の予定だったが席をたつのが悔やまれた、チャイルドラインを外側から見るとどうか、ということを考えて、等々の感想を聞くことができました。また、提案に向けての段取りがどうだったのか、議案書の不備等、総会を運営する事務局として反省すべきこともたくさん指摘いただき、今後に反映させていきたいと思います。

第5号議案の修正提案、書面表決に向けてのスケジュール等は、7月31日の理事会にて確認し、みなさんにご報告させていただきます。

先日6月28日に会員のみなさんに総会報告を送らせていただき、そちらにも添えましたが、7月24日までに総会を出し切れなかったご意見等もお送りいただければ幸いです。



全国のチャイルドラインから

● 7月1日からフリーダイヤル

行政との連携で、フリーダイヤル化が実現しました。これで全国 17 箇所（常設 55 団体中）がフリーダイヤルで実施することとなります。

・チャイルドラインとんだばやし

子どもがかける電話 0120-874-955
毎週月曜 15時～19時 第1,3土曜 14時～17時

・チャイルドラインみやざき

子どもがかける電話 0120-084-057
毎週土曜日、第1日曜 15時～21時

● 朝日新聞2006年6月28日掲載記事への団体のみなさんからのご意見

総会報告に同封しましたが、この大きく取り上げられた記事は、朝日新聞社会部の記者さんがおよそ1ヶ半月近くかけて、支援センターおよび全国のチャイルドラインとその関係者のみなさんに取材して歩いてまとめられました。

団体情報の掲載について、はじめは「こちらにお問合せ下さい」として支援センターだけを掲載するということでした。

ですが各地のチャイルドラインを取材され、これだけ多くの地域で実際に日々受ける活動をしている、ということ番号開設時間等を明示しながら示していくことがインパクトもあり活動の現実味を示すものだと考えられて、スペースを割くことになっても全国一覧を載せることにしたい、ということになりました。

掲載にあたって、常設しているすべての団体の事務局に記者さんご自身で電話をかけ、子どもがかける番号開設曜日時間掲載の可否について問合せをされました。全国誌という媒体での掲載は見合わせたいという団体もありました。そのようにこたえられた団体についてどう考えたらよいか、記者さんより意見を求められましたが、個別の事情はありますのでその団体の申し出を尊重して下さい、と応じ、あのような掲載の形になりました。

掲載後、「支援センターから掲載について事前の情報が欲しかった」とか、「子どもの番号に大人からの電話が増えるなどのこともあり情報の出し方について適切だったか」、等の意見が寄せられています。新聞やHPという大きな媒体、直接手渡されるカードという媒体、様々な層を対象として、それぞれに特徴をもってチャイルドラインの活動を届け、知らせる方法がありますが、みなさん、どのように考えられますか？

2006年度事業から

● 全国研修

例年のフォーラムにかえて、今年は秋に全国研修を開催いたします。下記の日時・会場で実施いたします。

【日時】11月24日(金)10時～25日(土)16時

【場所】24日 国立オリンピック記念青少年総合センター
25日 東京アムウェイ本社

【対象者】チャイルドラインを実施する団体の運営中心者2名程度

【テーマ】社会的役割としてのチャイルドラインとは

【参加費】未定

プログラムの内容は決まり次第お知らせしていきます。またオリンピックセンターでの宿泊は、前日23日・一日目24日と可能です。

参加申込みは10月頃より開始する予定です。

● 広報支援

総会資料と共に、チャイルドライン実施団体のみなさまには、共通版ポスター、常設カードのご案内をお届けしました。

今年の共通版ポスターは、昨年のメッセージ展ポスターに引き続き博報堂ボランティアの方々を作成してくださいました。コピーライターの渡辺潤平さんがコーディネートして下さい、昨年はビオレママや、クーでおなじみのイラストレーター丸山もも子さんがイラストを描いてくださいました。今年はANAやドコモキッズケータイなどのCMでデザイナーを務める若手の関谷奈々さんがイラストとデザインを仕上げてくださいました。今回のデザインは支援センターのリニューアルしたHPで先行して使わせていただいています。

常設カードは右ページ、「アタゴール企画」により、タイアップが可能となった場合には支援枚数の幅が広がります。今後のお知らせを、どうぞ気をつけて見て下さい。

CHI 国際会議 inStockholm

2006年10月2日から5日、スウェーデンはストックホルムでCHIの世界大会が開催されます。興味関心のある方は支援センターまでお問合せ下さい。大会のオプションとして周辺の島々の観光や、ノーベル賞受賞式典後の晩餐会で有名なシティホールでの夕食会なども予定されるようです。

● チャイルドライン夢メッセージ展情報

5月から、イクスピアリ、岡山津山市、東京三鷹市の3会場にて開催され、約600名の方々が来てくださいました！7月8日、9日の三鷹会場には、なんと実際に絵馬を描かれた作者の方も数人訪れてくださったそうです。今後、下記の会場で開催を予定しております。ご来場お待ちしております。また、ケログさんのご紹介で、「全国神社庁」から、地域の神社がメッセージ展会場協力をします、というお申し出がありました。やりたいけど、会場が無いと踏みとどまっていたみなさん、ぜひ支援センターまでご連絡ください。

- 愛知県 名古屋市中村区 大門商店街
きもの美濃幸ラ・クロシェット
7月21日～22日
- 長野県 信州松代ロイヤルホテル
8月19日～20日
- 福島県 いわき市文化センター
9月2日 9:30～17:00
9月3日 9:00～15:00
- 三重県 総合文化センター（津市）
9月23日～24日
- 宮崎県 イオン宮崎ショッピングセンター イオンホール
11月12日～14日
- 大阪府 ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）1F
パフォーマンススペース
11月24日～26日
- 宮城県 仙台市国際センター
12月7日～9日
- 広島県 NHK 広島放送局
12月12日～17日（予定）



メッセージ展で、ポストカードに加えて、用途の多い一筆箋も作成中です。8月の完成を目指しています。

支援の輪

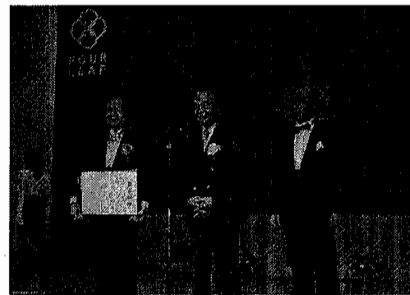
●味の素ワンクリックの結果報告

5月から開始し、みなさんにも折に触れてご案内していた味の素ワンクリック募金ですが、おかげさまで7月12日に上限の30万円を超えました。毎日ワンクリックのご協力ありがとうございました！

●フォーリーフ対談、パーティの報告

今年の子どもの日からご支援いただいているフォーリーフジャパン、6月13日に清川代表が会長・社長との対談が行われ、子どもの育ちを支える社会をどう作っていくかをテーマに熱く語り合いました。

また7月13日にはフォーリーフ三周年の記念式典でチャイルドラインを紹介する映像を大画面で流した後、牟田代表が挨拶の場をいただき崎村社長とフォーリーフ基金に感謝状を贈呈しました。牟田さんの降壇後、会場では「私も子どもを持つ親なのですが・・・」と、牟田さんを囲んで子どもとの関わり相談会のような一幕も見られました。



●アタゴオル企画

ますむらひろし原作の『アタゴオルは猫の森』がこの秋映画化され公開されます。その映画公開とタイアップしたチャイルドラインの広報・チャリティの企画について、調整中です。

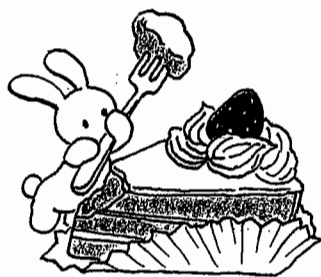
映画は2006年秋10月中旬頃より、恵比寿ガーデンシネマほか全国約100の映画館で公開されます。それらの劇場での募金や情報宣伝のご協力をいただくこと、また『アタゴオルは猫の森』のキャラクターヒデオシによるチャイルドラインの応援、そのほか協働企画も打ち出していきたいと思っています。今後の進行にご注目ください。

☆ ヒデオシは、「打ち水キャンペーン」の環境庁のポスターや、ハウス食品、積水化学などのCMでも用いられています。

音楽：石井竜也 企画製作：ミコット・エンド・バサラ
配給：角川ヘラルド社

支援センターの動き 6月～8月

- 6月2日 朝日新聞取材、ムーンファクトリー打合せ
- 6月6日 臨時理事会、統一ダイヤル委員会、データベース委員会、他機関委員会、朝日新聞取材
- 6月7日 フォーラム報告書打合せ、ファンド打合せ
- 6月8日 ニュース48号発行
- 6月9日 みなとNPOハウス入居者協議会、総会議案書送付
- 6月12日 夢メッセージ展図録デザイン打合せ
- 6月13日 フォーリーフジャパン代表対談
- 6月17日 常務理事会
- 6月19日 大阪子どもNPOはらっば設立前セミナー
- 6月23日 年次報告、子どもの日リフレット納品
- 6月24日 全国研修委員会、拡大統一ダイヤル委員会、理事会
- 6月25日 2006通常総会
- 6月27日 アタゴオル企画打合せ
- 7月3日 NPOファミリーハウス来局
- 7月5日 プランニングヴィ絵馬図録打合せ、ムーンファクトリー携帯サイト打合せ
- 7月6日 渋谷ミニフォーラム「山本シュウが語る地域教育力～企業・NPO・市民とのコラボレーション」参加
- 7月7日 常務理事会、入居者協議会
- 7月8日・9日 夢メッセージ展（三鷹会場）
- 7月11日～ ハローワークにてスタッフ求人受付
- 7月12日 絵馬写真撮影、プルデンシャル生命訪問
- 7月13日 フォーリーフ記念パーティ 牟田代表挨拶
- 7月14日 ケロッグ協賛御礼訪問、厚生労働省・文部科学省後援御礼訪問、東京ガス協賛御礼訪問、味の素募金御礼訪問
- 7月19日 NTTデータ経営研究所訪問、プルデンシャル生命訪問、フイランソロフィーセミナー参加、ニュース49号発行、事務局会議
- 7月21日・22日 夢メッセージ展（名古屋会場）
- 7月26日 NPOまつり実行委員会
- 7月30日 統一ダイヤル委員会
- 7月31日 全国研修委員会、他機関委員会、理事会
- 8月4日 みなとNPOハウス入居者協議会
- 8月13日 商標委員会
- 8月14日～18日 事務局・夏季休み**
- 8月19日・20日 夢メッセージ展（長野県松代会場）
- 8月25日 常務理事会
- 9月2日・3日 パシフィコよこはま「外来小児科学会」ブース出展
- 9月5日 理事会



各種ご案内

● 「日本外来小児科学会」大会にてブース出展

9月にパシフィコ横浜で行われる日本外来小児科学会でブース出展することになりました。

日時：2006年9月2日(土)～3日(日)

会場：パシフィコ横浜

テーマ：「進めよう！協働の輪 育てよう！探究心の芽 吹かせよう！新しい小児医療の風」

<http://2006yokohama.or.tv/top.html>

● 子どもの日報告リーフレット、年次報告の同時発送を受付けています。(7月28日受付締め切り)

総会資料と一緒にお渡しした「子どもの日報告リーフレット～話したいことが満ちあふれているのに」と「年次報告2006」、7月28日までに一緒にご注文いただいた会員には、送料一括1,000円にて配送いたします。数が多い場合には個別に頼むよりもお得です。どうぞご利用ください。

(リーフレットは1000部まで無料、年次報告は会員1冊300円)

総会の時にもご案内いただきましたが、7月いっぱい、約3年お勤めいただいた西山さんが退職します。

統一ダイヤル、データベース、企業との協働委員会、書籍の受発注等を担当していただき、何よりも昨年はじまった夢メッセージ展は西山さん無しには成立しませんでした。全国のみなさんにもおなじみの声だったのではないのでしょうか。大きな事業を一手に引き受けていただいていたので、今後のことが心もとない限りです。

事業は一時的に高橋、加藤が引き継ぎ、同時に後任の方を探しています。しばらくはかたご不便をおかけするかもしれませんが、ご支援をよろしく願いいたします。